



笑売繁盛!!

このコーナーでは、市商工会に加盟している市内各地域の「人気のお店」「頑張る会社」を紹介しています。  
今回は、矢島地域の「TOYOSHIMA FARM」です。



矢島地域 TOYOSHIMA FARM

《☐ k-toyoshima@toyoshimafarm.com》

■あらまし  
豊島さんは大学卒業後、大阪の会社に勤めたが1年で退社し、地元矢島に帰って来ることにした。もともと農業をする気は無かったが、実家の農業を手伝ううちに体を動かす気持ち良さや、地元を離れて分かった田園風景の素晴らしさに気が付き、この風景を絶やしたくないとの思いから本格的に就農を決意。しかし周りから「コメだけでは厳しいのでは」と助言があり、何の作物を栽培するか悩んだとき、各地でワインを使った地域活性化の事例

を知り、今後の可能性を感じたワイン用ブドウを選び、平成28年に栽培を開始した。ワイン用ブドウ農家の豊島昂生さん(33歳)にお話を伺いました。

「ワインは敷居が高い物と感じる人もいますが、地元の一つの農産物と思って、気軽に飲んでいただければと思います」と話す豊島さん



園地が広いので、乗用草刈機で草刈りをする様子

作業の中で一番つらいのが冬の剪定。寒い中、苗木が雪に埋まる前に完了させなければならない



■ブドウ栽培の工夫  
地域内でのワイン用ブドウの栽培実績が無いことや品種によって特性や栽培方法が違うため、まだまだ試行錯誤しながら栽培している。園地が鳥海山の麓で雪が2メートル積もる豪雪地帯のため、苗木の仕立て方を工夫。普通はまっすぐ育てる苗木をあえて斜めに育てることで、雪によって枝が折れるのを防いでいる。

■よろこび  
ワインをおいしいと思ってもらえたときや、市内のイタリア料理店でのワイン会、おぼこ号のワイン列車園地をライトアップして行った試飲会など、いろいろな業種とコラボしてイベントを行うことができたのがうれしい。



日光をたくさん浴びて育った実を一房一房丁寧に収穫

つるが伸びすぎると良くない、年に何度も剪定を実施



■これから  
現在は県外ワイナリーに委託醸造しているが、数年以内に家族経営規模の小さな醸造所を建設して、自分で栽培したブドウを醸造まで行えるようにしたい。今後、農業が次の代に続いていくよう、農業の良さを伝えていけるような存在になればと思っています。

現在、市内で作られたワインがあることを知っていただく。ぜひ市内で作られたワインを味わってみてください。

TOYOSHIMA FARM

○ホームページ / <https://toyoshimafarm.com/>  
○取り扱い店舗 / 木島酒店、酒のまるみや、Aコープ矢島店、酒のまるけん (各店舗で一部商品が完売しています)

※店舗がなく、園地の見学受け入れなども行っていません。豊島さんの希望により、連絡先や園地の所在地は掲載しておりません。



ワインの味は品種や土壌、気象条件などでほぼ決まるそうです。その中でさらに品質を良くするため、剪定やブドウの粒の選別など日々さまざまな作業を行い、品質向上に努めている豊島さん。今月初めて市内で作られたワインがあることを知っていただく。ぜひ市内で作られたワインを味わってみてください。



濃厚な味わいのブドウジュース (完売中、12月以降再発売予定)

読者プレゼント  
9/20(水)まで

笑売繁盛 プレゼントつき! 広報クイズ

※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

TOYOSHIMA FARMから「スパークリングワイン (1本)」を3人にプレゼント!

■応募資格 / 市内にお住まいの方 (応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見やご感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

ハガキ、ファクシミリ、電子メールでご応募ください。

Q1 8月5日に南由利原青少年旅行村で行われたまつりは?  
1. 鳥海高原由利原まつり  
2. 由利原高原由利原まつり  
3. 南由利原高原まつり

Q2 平均気温が2度上昇すると洪水発生頻度はどうなる?  
1. 1.1倍になる  
2. 1.5倍になる  
3. 2.0倍になる

住所・氏名・年齢  
電話番号  
クイズの答え  
おたより

〒015-8501 尾崎17  
広報広聴課  
「読者プレゼント」係



豊島さんおすすめのスパークリングワイン

